

中学生でも解ける東大大学院入試問題（29）

2014-11-02 12:30:19

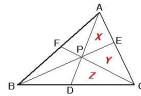
こんにちは。東久留米市の学習塾塾長です。

天気図を見ると日本列島の周りに3つほど低気圧があり、おまけに台風20号が北上していて悪天候になりそうですが、ここ暫くは雨は降らないようです。天気予報も複雑です。

さて、今回は平成23年東大大学院工学系研究科システム創成学入試問題で、図形に関するものです。

問題は、

「図に示すように、 $\triangle ABC$ の内部に1点Pをとり、APの延長とBCの交点をDとし、BPの延長とCAの交点をEとし、CPの延長とABの交点をFとする。 $\triangle APE$ 、 $\triangle EPC$ 、 $\triangle CPD$ の面積を、それぞれX、Y、Zとすると、 $\triangle ABC$ の面積をX、Y、Zを用いて表せ。」



▲問題図

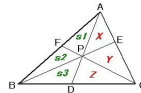
です。

この問題を見て「チェバの定理」を思い起こした人はかなり図形好きですね。「チェバの定理」は、問題図の三角形で、

$$BD/DC \cdot CE/EA \cdot AF/FB = 1$$

が成り立つというものです。覚えやすい式なので頭に入れておいても損はないでしょう。

しかし、この「チェバの定理」を知らなくても心配には及びません。図1に示すように $\triangle AFP$ 、 $\triangle BFP$ 、 $\triangle BDP$ の面積をそれぞれ $s_1$ 、 $s_2$ 、 $s_3$ として立式する方針で正解できます。



▲図1． $s_1$ 、 $s_2$ 、 $s_3$ を置く

まず、 $\triangle ABC$ の面積をSとすると、  
 $S = X + Y + Z + s_1 + s_2 + s_3$  (1)  
 となります。

一方、

$$X : Y = (s_1 + s_2) : (Z + s_3) \quad (2)$$

$$Z : s_3 = (X + Y) : (s_1 + s_2) \quad (3)$$

$$s_1 : s_2 = (X + Y) : (Z + s_3) \quad (4)$$

が成り立ち、(2) (3) (4) から $s_1$ 、 $s_2$ 、 $s_3$ を求めて、(1)に代入すればお仕舞いです。

計算しやすいように、(2) (3) (4)を分数で表すと、

$$X/Y = (s_1 + s_2) / (Z + s_3) \quad (5)$$

$$Z/s_3 = (X + Y) / (s_1 + s_2) \quad (6)$$

$$s_1/s_2 = (X + Y) / (Z + s_3) \quad (7)$$

となり、(5)と(6)の両辺を掛けると、

$$X/Y \cdot Z/s_3 = (s_1 + s_2) / (Z + s_3) \cdot (X + Y) / (s_1 + s_2)$$

$$XZ/(Ys_3) = (X + Y) / (Z + s_3)$$

と $s_3$ をX、Y、Zで表すことができそうです。

続けると、

$$XZ(Z + s_3) = (X + Y)Ys_3$$

$$(Y(X + Y) - XZ)s_3 = XZ^2$$

$$s_3 = XZ^2 / (XY - XZ + Y^2) \quad (8)$$

となりました。

次に、(5)を変形して、

$$s_1 + s_2 = X/Y \cdot (Z + s_3)$$

$$s_1 + s_2 + s_3 = X/Y \cdot (Z + s_3) + s_3$$

$$= XZ/Y + (X/Y + 1)s_3$$

$$= XZ/Y + (X + Y)/Y \cdot s_3 \quad (9)$$

として、(9)に(8)を代入します。

$$\begin{aligned}
s_1 + s_2 + s_3 &= XZ/Y + (X+Y)/Y \cdot XZ^2/(XY - XZ + Y^2) \\
&= XZ/Y \cdot (1 + (X+Y) \cdot Z/(XY - XZ + Y^2)) \\
&= XZ/Y \cdot (XY - XZ + Y^2 + (X+Y)Z)/(XY - XZ + Y^2) \\
&= XZ/Y \cdot Y(X+Y+Z)/(XY - XZ + Y^2) \\
&= XZ(X+Y+Z)/(XY - XZ + Y^2) \quad (10)
\end{aligned}$$

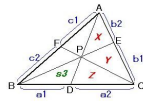
と少し綺麗な式になりました。

最後に、(10)を(1)に代入して、

$$\begin{aligned}
S &= X+Y+Z + XZ(X+Y+Z)/(XY - XZ + Y^2) \\
&= (X+Y+Z)(1 + XZ/(XY - XZ + Y^2)) \\
&= (X+Y+Z)(XY - XZ + Y^2 + XZ)/(XY - XZ + Y^2) \\
&= (X+Y+Z)(X+Y)Y/(XY - XZ + Y^2)
\end{aligned}$$

と正解に辿りつきました。

先ほど紹介した「チェバの定理」を使ってもそれほど楽になるというわけではないのですが、それもやってみましょう。簡単にするために線分の長さを図2のように置きます。



▲図2. 「チェバの定理」を利用した解

「チェバの定理」より、

$$a_1/a_2 \cdot b_1/b_2 \cdot c_1/c_2 = 1 \quad (11)$$

ここで、 $b_1/b_2 = Y/X$ なので、(11)は、

$$a_1/a_2 \cdot c_1/c_2 = X/Y \quad (12)$$

ここで、 $A = a_1/a_2$ 、 $C = c_1/c_2$ とすると、(12)は、

$$AC = X/Y \quad (13)$$

一方、 $\triangle ABC$ の面積を  $S$  とすると、

$$\begin{aligned}
S &= (a_1 + a_2)/a_2 \cdot (X+Y+Z) \\
&= a_1/a_2 \cdot (X+Y+Z) + X+Y+Z \\
&= (A+1)(X+Y+Z) \quad (14)
\end{aligned}$$

となり、つまり  $A$  を  $X$ 、 $Y$ 、 $Z$  で表せばOKとなります。

そこで、 $\triangle BDP$ の面積を  $s_3$  と置くと、

$$\begin{aligned}
a_1/a_2 &= A \\
&= s_3/Z \quad (15) \\
c_1/c_2 &= C \\
&= (X+Y)/(Z + s_3) \quad (16)
\end{aligned}$$

(13) から  $C = X/AY$ 、(15) から  $s_3 = AZ$  を(16)に代入して、

$$X/AY = (X+Y)/(Z(1+A))$$

これを  $A$  について整理して、

$$\begin{aligned}
A((X+Y)Y - XZ) &= XZ \\
A &= XZ/((X+Y)Y - XZ) \quad (17)
\end{aligned}$$

と  $A$  を  $X$ 、 $Y$ 、 $Z$  で表すことができました。

最後に(17)を(14)に代入して、

$$\begin{aligned}
S &= (XZ/((X+Y)Y - XZ) + 1) \cdot (X+Y+Z) \\
&= (XZ + (X+Y)Y - XZ)/((X+Y)Y - XZ) \cdot (X+Y+Z) \\
&= (X+Y+Z)(X+Y)Y/(XY - XZ + Y^2)
\end{aligned}$$

と前の答えと同じになりました。

シンプルな問題の割りに結構面倒な計算でしたが、もっと簡単に解く方法があるのかもしれない。興味があれば調べてみてください。